

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目		工業 建築法規		単位数	2
対象学年・組		3学年建築科	教科担任	AA:米原 AB:米原	
教科書・副教材		建築法規 建築基準法令集			
1. 目標 建築法規を中心とする各種建築法規の基礎的な知識を習得させ、建築物の設計・施工・管理などを活用する能力と態度を育てる。さらに将来の2級建築士および2級建築施工管理技士受験に備え必要な知識を習得させる。					
2. 学習内容と学習上の留意点					
学期	月	単 元	指導内容・指導目標		予定時数
1 学 期	4	単体規定(防火・避難規定、建築設備規定)	採光、換気、高さ、遮音、階段、廊下。各構造の種別規定、構造計算の方法を理解させる(各構造の理解と構造計算の意義、確認)		6
	5	単体規定(防火・避難規定、建築設備規定)	採光、換気、高さ、遮音、階段、廊下。各構造の種別規定、構造計算の方法を理解させる(各構造の理解と構造計算の意義、確認)		6
	6	単体規定(防火・避難規定、建築設備規定)	採光、換気、高さ、遮音、階段、廊下。各構造の種別規定、構造計算の方法を理解させる(各構造の理解と構造計算の意義、確認)		8
	7	単体規定(防火・避難規定、建築設備規定)	採光、換気、高さ、遮音、階段、廊下。各構造の種別規定、構造計算の方法を理解させる(各構造の理解と構造計算の意義、確認)		4
	1学期授業時数計				24
2 学 期	9	建築手続きと各種関係法規	建築手続きのあらまし。建築士法、建設業法などの基本的事項を理解させる。(各種手続きの種類・方法。関連法規の理解)		8
	10	建築手続きと各種関係法規	建築手続きのあらまし。建築士法、建設業法などの基本的事項を理解させる。(各種手続きの種類・方法。関連法規の理解)		8
	11	建築手続きと各種関係法規	建築手続きのあらまし。建築士法、建設業法などの基本的事項を理解させる。(各種手続きの種類・方法。関連法規の理解)		6
	12	建築手続きと各種関係法規	建築手続きのあらまし。建築士法、建設業法などの基本的事項を理解させる。(各種手続きの種類・方法。関連法規の理解)		6
	2学期授業時数計				28
3 学 期	1	集団規定(都市計画法と土地利用、道路と敷地、密度・形態に関する規定)	集団規定の目的。用途地域。道路と敷地の関係。建ぺい率、容積率の意義と計算。建築物の高さ制限、日影規制を理解させる(各種計算方法の理解)		3
	2				
	3				
	3学期授業時数計				3
年間授業時数合計					55
3. 評価の観点・方法					
・定期考査の得点で学習の理解度を評価する。					
・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する。					
・1、2学期は学習内容の理解度を7割、授業の取り組みを3割で成績をつける。					
・学年末は1、2学期の成績を踏まえて、総合的に4割以上で単位修得を認める。					